

● ご自由にお持ちください ●

花と緑の情報をお届けします。

2005
summer

28

Green Sketch

グリーンスケッチ

夏、輝く緑に 囲まれて

青い空にひとときわ映える緑。
夏の太陽に照らされて輝く花々。
生き生きと空を仰ぐ姿が
心に爽やかな風を送ってくれる。

- ① 役立つポイントアドバイス
花と緑のお悩み相談室
- ② 特集
地域が誇る、個性ある公園づくり
- ③ 植物に親しむ
香りの植物を楽しむ
- ④ 緑花センターからのお知らせ
緑花センター掲示板
- ⑤ みなさんからの声を紹介
読者の広場
- ⑥ TOPICS
新潟スタジアム
- ⑦ にかた夏の散歩道
アサガオ
- ⑧ 県立植物園
夏の催し物のご案内



「にかた」の
百年物語に
参加しています。



新潟県都市緑花センター

目次

役立つポイントアドバイス	
花と緑のお悩み相談室	01
特集 地域ので快適な都市環境を	
地域が誇る、個性ある公園づくり	02
植物に親しむ	
香りの植物を楽しむ	05
緑花センターからのお知らせ	
緑花センター掲示板	07
みなさんからの声を紹介	
読者の広場	07
TOPICS	
新潟スタジアム	08
にいがた夏の散歩道	
アサガオ	09
県立植物園	
夏の催し物のご案内	10

花と緑の

お悩み相談室

Q 冬に買ったシクラメンが夏に枯れてしまいます。
夏越しの方法を教えてください。

A 冬に咲くシクラメン、比較的涼しく乾燥した地中海地方原産で、日本の夏の高温多湿は大敵です。

夏越しには2つの方法があります。一つは、花が終わったら乾燥させて強制的に休眠させる方法。風通しの良い日陰で一切水を与えず、枯れた葉などをとりのぞきながら管理します。もう一つは、葉を残して管理する方法。春がきたら徐々に日光に慣らします。ただし真夏の直射日光は当てないように、半日陰で、鉢の土が乾燥したら水を与えるようにして管理します。前者の方が手はかかりませんが、後者のほうが後の生育は良くなります。

夏を越したシクラメンは、植え替えが必要になります。適期は9月です。

まず、鉢から抜いて…

◎休眠させた場合:古い土を全部落とし、根は2~3cm程度残して切り落とします。

◎休眠させなかった場合:まわりの土をかるく(3分の1くらい)落とします。

球根の上部3分の1くらいが用土の表面に出るように植えつけます。

植え替え後、10日くらいは半日陰で、その後は屋外で良く日に当てて管理しますが、寒風が吹くまでに室内に取り込みます(10月半ばごろ)。葉にはりが出てきたら根が生長を始めているので、固形肥料を与えます。室内の日当たりの良い場所におき、株全体にまんべんなく光が当たるように、時々鉢をまわしてあげると良いでしょう。



特集

地域の力で 快適な都市環境を

地域が誇る、個性ある公園づくり
見附市「柳橋千刈街区公園」

みなさんは、公園にどんなイメージをお持ちですか？

広場があつて、形のいい木の並木や、サクラなど花の咲く木、手入れされた生垣、子どもたちが遊ぶ遊具、ベンチ、池……。このようなもので構成されている空間？

では、どんな公園が理想的か、考えたことがありますか？

近年では、地域ならではの公園づくりが強く望まれており、その個性を、公園のどこに持たせるかを、地域とともに考える動きが各地で見られます。今ある公園では、公園の一部や全体を住民参加による活動場所とし、住民とともに地域らしさをつくり出していくことを目指すことが試みられています。また、新しい公園をつくるときには、ワークショップや検討会などを行って、計画当初から地域の声を反映させるとりくみが行われるようになりました。

今号では、行政と住民とが協働して、県内でもめずらしい「ナチュラルガーデン」という空間を実現させた、見附市の新しい街区公園を紹介します。

平成17年7月18日 公園の設計者であるポール・スミザー氏を招いて行われた公園の手入れの様子。地域の方と見附市職員のみなさんが参加し、総勢40名ほどで作業を行いました。下の写真左端がスミザー氏。植えられた草花の説明をしています。



芝生広場

開園当初は養生のため立ち入ることができなかった芝生広場。芝生もだんだん密になってきました。





①グラベルガーデン

砂利敷きの庭を意味し、色とりどりの草花が植えられています。砂利を敷くことで雑草の繁茂を防げるほか、植物の近くまで寄って観察したり手入れをしたりすることができます。

②サマーハウス

ワラを四角くまとめたものと泥壁で仕上げたあたたかみのある建物。壁の落書きが問題に…。

③自然の池

サマーハウスの裏に、雨水のみをためてできた自然池があり、水辺の植物が生えています。池を見つめているみなさんは、管理についてのお話をうかがった地域の委員の方々。

④風除けの植栽帯

土手のように土が盛られた上にさまざまな樹木が植えられています。まだまだ小さな木もありますが、生長が楽しみです。

⑤子どもの遊び場

遊具が設置しており、パークチップが敷き詰められています。ベンチに腰かけて子どもたちの遊ぶ姿を眺めることができます。



6

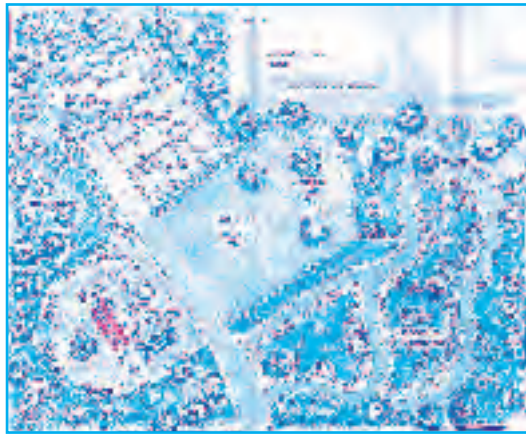
⑥⑦7月18日の作業では、樹木や草花のまわりの雑草を抜き、パークチップを敷きつめました。乾燥や雑草の発生を抑え、土の状態を良くするなどの効果があります。抜いていい草、悪い草の判断は難しく、「これとっていい?」とスミザー氏に確認しながらの作業。間伐材からつくったパークチップは、見附市の森林組合から購入したものです。



1

地域の力で 快適な都市環境を

特集



計画平面図

柳橋・千刈地域と 公園整備の経緯

新潟県のと真ん中、見附市には、見附地区・今町地区とよばれる二つの市街区域があります。そして、柳橋町と千刈町は、その二つの市外区域の中間に位置し、近年居住地域として発展を遂げている地域です。

平成8年の宅地開発の際、公園予定地として二四〇〇㎡の敷地が確保されました。この地域周辺に公園が整備されていないことに加えて、転入してきた若い世代を中心とした住民の強い要望を受け、この公園の整備がスタートしました。

この地域は、従来から居住している世帯や開発分譲地に転入してきた若い世帯など、さまざまな年代層で構成されています。こうした地域の公園整備にあたり、見附市では、あらゆる世代から親しまれ、世代間交流が生まれるようなデザインをイメージしてきました。その手法として、これまでの街区公園にはない特色を持たせること、そして、日ごろの維持管理は地域が自主的に行うことを基本とし、そ

の実現のために、平成15年に住民との話し合いが始まりました。

話し合いには、地元町内会の役員、児童・園児の保護者のみなさん、地域づくりに関心のある方が参加しました。平成15年2月、3月に開かれた意見交換会では、検討委員の選出、検討委員会と公園整備のあり方について、同年4月、7月、9月の三回にわたって行われた検討委員会で公園内のデザインについて細かく話し合われました。

話し合いのなかで、見附市は、この公園を特色あるものとするため、「イングリッシュガーデン」の採用を提案しました。それは、住民との検討委員会のなかで、イングリッシュガーデンのなかでも比較的管理が容易な「ナチュラルガーデン(*1)」とすることで合意を得ました。それがこの公園の個性となるとともに、住民が公園の管理をうけおう地域活動のモデルケースとして市内外へ発信されることを視野に入れて、ガーデンデザインの第一人者であるポール・スミザー氏(*2)にデザイン・監修を依頼することとなりました。

そして、15年度の冬に整備が行われました。冬期だったこともあり、住民が整備や植栽などの作業に直接参加することはできなかったものの、整備の間にも、管理についての話し合いは継続されました。そして、柳橋町の三つの自治会と千刈町、合わせて四つの自治会がまとまり、独自の規定をつくって管理していくこととなりました。

開園へ

話し合いの内容を尊重・反映した形で整備は順調に進められ、平成16年5月1日、柳橋千刈街区公園(愛称/ナチュラルガーデンせんりゅう)が開園しました。

オープン当日には、設計者であるスミザー氏もかけつけ、管理の方法や草花・樹木の特徴を



丁寧に説明しました。開園式では、オープンが宣言されるとともに、地元住民への管理の引継ぎが行われました。さっそく地域の子どもたちが遊具で遊ぶ姿も見られ、和気あいあいとしたオープニングイベントとなりました。

開園後は、地域の四自治会が公園の管理を行っており、それぞれの自治会がボランティアを募り、協定³⁾にもとづいて順番に管理しています。また、老人会のなかで登録している「防犯ボランティア」のみなさんによる見回りが行われているそうです。この新しい公園を地域の大切な財産ととらえていなければできない、すばらしい行動だと思います。そして、柳橋町と千刈町は、小学校の学区が異なる地域ではありますがありますが、この公園が二学区の子どもたち、地域のみなさんの交流の場となり、これからも、植えた木や草の生長とともに喜びながら、さまざまに機能していくことでしょう。

利用についての問題

開園後、1年数ヶ月しかたっていないこの公園にも、ほかの多くの公園に見られるようないろいろな問題を抱えています。

たとえば、サマーハウスでは、地域のみなさんが巡回や貼り紙などで呼びかけているにもかかわらず落書きが絶えません。何度も壁を塗りなおすことで、落書きをする人が減ってくることを期待しているそうです。

土が硬く、やせていることも課題です。今後は芝の管理も必要になってくるでしょう。

これらの問題も地域と行政(見附市)、スミサー氏⁴⁾が連携をとって解決していき、利用する人々にとって、そして、植物にとっても快適な空間になつてほしいと思います。

¹ イングリッシュガーデンと聞いてイメージするいわゆる整形的な庭園ではなく、植物の自然の姿を重視した庭。広がりすぎたものやいらぬ雑草だけをとり、植物と相談しながらつくる、無理のない庭づくりといえるでしょう。

² イギリス出身のガーデンデザイナー。自然な雰囲気をつくりだすのが得意で、園芸誌、テレビ番組などを通じ、ガーデニングブームに火をつけたといっても過言ではありません。見附市では、平成15年にガーデニングについての講演を行っています。

³ 同じ自治会が2年続けて同じ月の管理を行うことのように設定されています。平等であるとともに、季節による違いを感じることができ、すばらしいアイデアです。

⁴ 年に二回スミサー氏を招いて、公園のメンテナンスを行っています。この催しは、公園を管理する地域のみなさんをはじめ、広く市民に参加を呼びかけています。

見附市の事例では、行政の提案と地域の要望がうまく融合・調和し、ともに育てていこうとする試みが実現されています。

公園の質の向上が叫ばれて久しく、公園をつくる、育てる、ということに、地域と行政のパートナーシップが必要とされてきました。しかし、活動の場として定着しているところはいまだに多いとはいえません。

当センターに寄せられる意見にも、「公園管理に力を貸したい。」「活動に参加したいけれど、どこへ行ったらいいかわからない。」「などの声が多くみられるようになりました。また、当センターでは、公園を舞台に展開してきた活動を通じて、地域のみなさんが公園づくりに参加することにより、すばらしい空間をつくりだせるということを感じてきました。この高まりをうけとめて、地域のみなさんの誇りとなるようなよりよい公園をめざし、呼びかけを続けていきたいと考えています。



香りの植物を楽しむ

夏はハーブが良く育つ季節です。また、この時期に花をつけるものもたくさんあります。育てる、見る、利用する。

ハーブの楽しみ方はいろいろです。とはいえ、ハーブっていったい何？香りのする植物？食べられる植物？薬草？…

「人間の生活に役立つ植物」全部がハーブです。ただし、改良されて食料となった野菜や米などはハーブとしてとらえられません。ハーブとは、自然のおもむきあふれるまま利用されている植物、と理解して良いのではないのでしょうか？

香りのある植物がハーブとはいきれないものの、香りを持つハーブはたくさんあります。

今号では、ハーブを使ったミニブーケを紹介します。

Lazy Muzzy



ハーブを使った

タツジーマツジー

タツジーマツジーって？

手のひらサイズの小さな花束のこと。中世のヨーロッパでは、香りの強い植物が魔よけになるとされて、小さく束ねたものを持ち歩いたそうです。19世紀にはいと、意味を持つ花を組み合わせ、思いを伝える「手紙」のように使われ、少し華やかになったようです。
※タツジーマツジーという名前の由来は明らかにされていません。

今回使った植物



- **ラムズイヤー**【シソ科多年草】
「子羊の耳」を意味する名前のおと、全体にやわらかい毛が生えていて手ざわりがよい。花束や花壇のアクセントになる。
- **オレガノ**【シソ科多年草】
クッキングハーブの代表的なもので、トマトとの相性が良くイタリア料理に欠かせない。乾燥させると良く香る。
- **コモンタイム**【シソ科低木】
食用・薬用・クラフトなど、用途が広い。タイムのなかまには、木立性、ほふく性、葉に斑が入るものなどさまざまあり、ガーデニングにも重宝する。
- **レディスマントル**【バラ科多年草】
「聖母のマント」を意味し、古くは薬用にされた。株は半球状に広がり、ガーデニングでも人気が高い。
- **イングリッシュラベンダー**【シソ科低木】
ラベンダーは、香りを楽しむハーブの代表的なもの。刈り取っても強く残る香りには鎮静作用がある。
- **バラ「サマースノー」**【バラ科つる性木本】
純白の小ぶりの花をたくさんつけるつるバラ。
- **サラダバーネット**【バラ科多年草】
別名、オランダワレモコウ。葉をサラダやバターなどの風味付けに使う。

庭やコンテナで育てた花を
使ってつくと楽しさも倍増!
いろいろな花を使ってつくってみましょう。
また、この形を応用して、
もう少し大きな花束をつくることもできます。
足りない花は花屋さんで売っている花を
代用しましょう。

中心となる **花**

やや大きめで、
印象の強いものを選ぶ

●バラ など

中心となる花を囲む **花**

細かい花を何種か選ぶ

●カモミール
●タイム ●セージ など

※アクセントに色の濃い花(ラベンダーなど)を入れるとひきま

まわりを囲う **葉**

大きめで平らな
葉を選ぶ

●レディスマントル
●ラムズイヤー など

準備するもの ●はさみ ●輪ゴム ●ペーパータオル ●アルミホイル ●リボン など

Let's try!
つくってみよう!



1

使う植物を20cmくらいに
切り、下半分の葉を取って水
あげする。

2

バラのまわりに、サラダパー
ネットやオレガノなどの中く
らいの花を同心円状におく。



3

中くらいの花と花の間を
コモンタイムやラベンダー
でうめていく。

4

ラムズイヤー(葉)を重ね、一
番外側をレディスマントル(葉)
でつつむようにまく。



5 完成!

先端を切りそろえ、
輪ゴムやひもなどで束ねる。

部屋に飾る場合

水をはった小さな器に
そのまま生けます。

贈り物にする場合

湿らせたペーパータオル
で切り口をまいてアル
ミホイルで固くどめ、その
上をラッピングペーパー
やリボンで飾ります。

植物クイズ

土用の丑といえぼうなぎ。粉状にしてうなぎの蒲焼の薬
味に使われる日本のハーブは次のうちどれ?

① サンショウ ② アオジソ ③ ドクダミ

【27号植物クイズ当選者発表】

正解は③でした。①はシャクヤク、②はショウガです。当選者は以下の方々です。おめでとうございます。

◎飯島佳美さん(阿賀町) ◎遠藤ユキさん(新潟市) ◎金子一美さん(上越市) ◎富木康雄さん(新潟市) ◎小川優子さん(吉田町)

- 答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入ください。
- 正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。
- クイズのメ切は8月31日(必着)です
- クイズの答えと当選者は次号(10月発行予定)に掲載します。

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や緑花センターが管理運営している県立公園等の情報をお届けします。

県内の公園で、春のさまざまな活動が行われました！

県立鳥屋野潟公園(スポーツ公園)

平成17年6月5日(日)

花の苗の植えつけ・自然観察会



植えつけ状況

自然観察でスケッチ
(右端が講師の高橋さん)

スポーツ公園の東端にある「ながたの森」。地域みなさんに参加いただいて、このエリアにある花壇に花の苗を植えました。46名のみなさんの手で、5,000株の苗はあっという間に植えつけられ、急きょ周辺の除草作業も行っていただきました。

お昼をはさんで、自然観察会を行いました。講師は、当センターの花と緑のアドバイザー、高橋正良さん。水辺で見られるものをスケッチしたり、園内の雑草を中心とした植物の説明を聴いたりしました。

県立紫雲寺記念公園

平成17年6月5日(日)

花の苗の植えつけ・緑花講習会

地域みなさんの参加による「花植えてみ隊」が、公園事務所前の花壇に初夏から秋まで咲き続ける花2,000株を植えました。この花壇では、春のあいだはチューリップが来園者を迎えてくれます。その球根の植えつけ(11月)、掘り取り(5月)も地域みなさんによって行われています。

植えつけ終了後、当センター職員による緑花講習会を行いました。ハーブについてお話したあと、ハーブを使ったミニブーケをつくりました。(ミニブーケは、今号の「植物に親しむ」でも紹介しています)



植えつけ状況

講習会の様子

県立大潟水と森公園

平成17年5月28日(土)

自然観察会

公園内の春の様子を観察する会が行われました。講師の市川弘幸さんに、草花の特徴や名前のおぼえ方などのお話を聞きながら園内をまわりました。(参加者33名)



散策の様子

県立聖籠緑地

平成17年5月15日(日)

ビオトープづくり体験

公園の管理に不要な石をあつめ、生き物を呼びかけづくりを行いました。大きめの石を積むだけのかんたんな構造ですが、小さな昆虫やトカゲなどのすみかになります。これから、観察を続けていきます。



作業の様子

活動を通して、より公園に親しんでいただけたのではないのでしょうか？
参加いただいたみなさん、どうもありがとうございました。

読者の広場



Green Sketch



訪れたときにちょうど桜が満開というのはうれいですね。初夏の佐渡はアジサイやイワユリなどが有名ですが、今度はぜひ写真を撮って投稿してください。

- 加茂市 山際和子さん
- 5月12日アンケートハガキより

4 月下旬に佐渡に行ってきました。今までこれほど桜を愛でた春はないと感じるほど、全島桜満開でした。空気のきれいな佐渡だからこそ、あのきれいな桜色があるのだらうと思います。佐渡の花特集もしていただけたらと思います。



当センターが考える住民参加型活動に賛同していただき、ありがとうございます。各公園の住民参加型活動は、当センターのホームページ(<http://www.greenery-niigata.or.jp>)上で随時募集や活動報告を行っていく予定ですので、ご覧ください。

- 5月11日アンケートハガキより
 - 新潟市 榎合さわ子さん
- 前** 号(27号)の特集「地域の力で快適な都市環境を」で紹介された住民参加型活動は全くそのとおりだと思います。身近な市の公園・緑地帯の維持管理(除草、剪定、清掃など)にボランティアで個人参加したいという方も思っています。企業やグループ単位でしか呼びかけがないのが残念です。

新潟スタジアム

NIIGATA STADIUM BIG SWAN

アルビレックスの活躍とともに、全国にその名をとどろかす新潟スタジアム「ビッグスワン」。
 迫力ある外観とともに、陸上トラックは日本初のIAAF CLASS1認証トラック*であり、美しく保たれた天然芝のフィールド。日本有数の規模、機能を兼ね備えた、まさに新潟の誇りです。
 そんな新潟スタジアムの緑であり、さまざまな感動のステージである「フィールドの芝」にちょっと迫ってみたいと思います。
 芝にとって厳しい夏の高温多湿。
 この季節、芝を健康に維持するためにどんなことが行われているのでしょうか？



* IAAF (国際陸上連盟) が定める基準。
 世界でも23ヵ国26箇所が認証登録されている (2004年5月現在)。

散水

晴天が続く盛夏には、早朝に1回と、正午ごろに表面温度を下げる目的で1回散水を行います。
 あれほどの広さ(107m×72m)の水やりはたいへんでは？…機械散水で全面をカバーしているのですが、ムラがないかを目で見てチェックして、必要なところがあれば手作業でフォローします。
 水がいくらあっても足りないのでは？…環境と経済性に配慮し、屋根に降った雨水を地下にため、それを利用しています(トイレの洗浄水も同様)。

散水状況
 レインガンという散水機械が6基あります。



刈込

シーズン中の刈込は週に2~3回。25mmの高さに維持しているスタジアムの芝ですが、生育期には1日に5mmも生長します。長く伸ばしてから刈ることは芝へのダメージが大きく、質も落ちてしまいます。また、高温多湿を好む病原菌がはびこるのを防ぐためにも、こまめな刈込が必要なのです。



刈込状況
 フィールドのしま模様も刈込時につくっているもの。芝を押しながらかいているため、芝の寝ている向きによって濃淡に見えます。

また、夏はフィールドの利用が多い季節。フィールドを利用するということは、芝が踏まれているということです。生き物である芝は回復力を持っていますが、頻繁に利用されると回復が追いつかなくなります。
 新潟スタジアムの芝生の利用は年間70日。これは、決して少ない数ではなく、冬期を除くと週に2回ほどのペースで使われており、ちょっと負担をかけているのも事実です。1週間に2回の利用と2~3回の刈込、その他の手入れ…?芝は意外にあわただしい毎日をおくっているのです。

ここで紹介したのは、管理作業のほんの一部です。みなさんに元気な芝を見せることができるように、芝の健康管理に日々奮闘しています!! 新潟スタジアムの芝生について、詳しくは新潟スタジアム公式ホームページ内「芝生のはてな」をご覧ください。

■新潟スタジアム公式ホームページ URL <http://bigswan.greenery-niigata.or.jp>
 スタジアムのこと、利用案内などがご覧いただけます。

おたより募集!

「Green Sketch」では読者のみなさまから花や緑に関するおたよりを募集しています。字数は300字以内なら何字でも構いません。ご自慢のお写真の投稿も大歓迎!!住所、氏名、電話番号を明記の上、下記までお寄せください。掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただくことがあります。また、原稿・写真の返却、採否のお答えはいたしませんのであらかじめご了承ください。なお、掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!!どしどしお寄せください。



今まであった木がなくなるのは寂しいですが、自分で計画をたてて庭をつくるのは楽しいですね。

- 新潟市 高橋孝明さん
- 5月19日アンケートハガキより

我 が家の小さな庭が昨年の部屋の増築によって、さらに狭くなりました。2本あった松も1本に減り、そして毎年きれいに咲いていた雪輪もなくなりました。しかし、今はその狭い庭を以前より有効に使って、花や木を育てています。



寄植は思いどおりにできましたか? 寄植をつくってみた感想など、またお便りお待ちしております。

- 5月16日アンケートハガキより
- 上越市 阿部洋子さん

母 の日に園芸店で売っている寄植の花を買い、プレゼントしました。前号の「植物に親しむ」で寄植を紹介しているのを見て、来年の母の日には自分で選んだ花を植えてあげたいと思いました。来年のために、これから挑戦してみます。

※1
アサガオ属に分類する見解もあります。

※2
中国では、アサガオは牽牛(けんご)と呼ばれ、種子が漢方薬として珍重されました。その名の由来には、この薬で大病を治したお礼に与えられた牛を牽いて帰ったからという説や、アサガオをつめた箱を牛に引かせて売り歩いたからという説などがあります。

い が た に 夏 の 散歩道

アサガオ

アサガオといえば夏。夏休みの宿題で、咲いた花を数えた日々が思い出されます。

アサガオは、ヒルガオ科サツマイモ属(※1)に属し、中国南部原産といわれる性の一年草です。日本への渡来は、奈良から平安時代に遣唐使が薬草(※2)として持ち帰ったとされています。

万葉集には、山上憶良が詠んだ秋の七草に「あさがお」が登場しますが、これは現代のキキヨウを指しているようです。現代のアサガオを指すようになったのは10〜11世紀ごろと考えられています。

朝開いた花が数時間でしぼんでしまう様子から、古くから「はかないもの」という印象が持たれるとともに、そのはかなさ、いさぎよさに魅せられてきました。日本では、品種改良がすすみ、大輪朝顔と変化朝顔に大別されます。江戸時代、特に変化朝顔がもてはやされ、高値で取引されました。明治期には、大輪朝顔の観賞が流行しました。現代も続く東京都入谷の朝顔市が始まったのもこのころです。

ヨーロッパでは勇氣とエネルギーの象徴とされ、英名は「モーニング・グロリー」(朝の栄光の意)。毎朝、元気にあいさつをするように咲くこの花に良く似合っています。

アサガオを見に行こう

■大輪朝顔展

平成17年8月2日(火)～7日(日)

■変化朝顔展

平成17年8月23日(火)～9月11日(日)

ともに、新潟県立植物園観賞温室第3室2階(無料エリア)にて開催。

詳しくは、新潟県立植物園(Tel.0250-24-6465)まで。

※日程などは変更になる場合があります。



平成16年「変化咲朝顔展」にて
変化朝顔は、花や葉の形などが観賞の対象となり、花名は、その様子が分かるようにつけられる。例『柳葉紫撫子采咲』『蜻蛉葉白切咲』など



新潟県立植物園

夏の催し物のご案内

観賞温室第2室「花と緑のステージ」

企画展示『食虫植物展』

平成17年7月12日(火)～9月11日(日)

世界中のさまざまな食虫植物、約70種500鉢を展示します。食虫レンジャーによる解説や、ウツボカズラ、ハエトリソウなどの模型を使った、虫を捕らえる仕組みの解説を行います。また、新潟県に自生する食虫植物の紹介、オジギソウやマイハギなどの動く植物の展示を行います。長さ40cmのふくろを持つウツボカズラ、他の植物にくっついて生活する(着生)ミミカキグサなど、見どころもいっぱいです。

観察や体験を通して、楽しみながら植物の不思議な一面を学ぶことができる、夏休みとおきの企画展示にぜひ足をお運びください。



食虫植物
体験コーナー



ハエトリソウ

サラセニア 'ミクスタ'

ぼくたちが食虫植物を解説するよ!



食虫ピンク 食虫イエロー 食虫レッド 食虫ブルー 食虫グリーン

食虫レンジャー

※次回の企画展示は、平成17年9月13日(火)より、さまざまな伝説に登場する植物を紹介する「植物怪異伝」となります。

夏休み特別夜間開園

平成17年8月12日(金)～14日(日)

8月12日(金)・13日(土)・14日(日)の3日間は、20:30まで開館時間を延長して温室内をご覧ください(入館は20:00までです)。

植物が、昼間は見せない顔を見せてくれるかも?ぜひ来て園ください!!

●主なイベント

「夜に咲く花」
展示

わくわく
夜の熱帯植物
ガイド

どきどき
熱帯フルーツ
試食 など

16:30以降に入館された中学生以下のみなさんには
食虫植物をプレゼント!! (数に限りがあります。お早めに!!)

また、8月6日(土)は、隣接の新津美術館の夜間コンサートに合わせ、19:00まで開館しています(入館は18:30まで)。

花と緑の教室

お電話・メールでお申込みください。定員に達しだい締め切らせていただきます。

9/3(土) 13:30～15:00

夏秋の園芸教室①

「なぜ変化朝顔がおもしろいか」

- 講師/石川 昇(新潟変化朝顔同好会)
- 定員/40名 ●参加費無料

9/11(日) 13:30～15:00

夏秋の園芸教室②

「小果樹の種類・栽培・etc…」

- 講師/野本 知男(北越農事株式会社)
- 定員/30名 ●参加費無料

9/25(日) 10:30～12:00

夏秋の園芸教室③

「山野草を使った寄せ植づくり」

- 講師/片岡 充(片岡笑幸園)
- 定員/15名 ●受講料/2,000円

花のカルチャープラザ

花と緑の情報センターでは、7月下旬から9月中旬の毎週末、さまざまな体験教室を開催しています。事前受付は不要ですので、当日直接お越しください。詳しくは植物園にお問い合わせください。



お問い合わせ、お申込みは

新潟県立植物園 Tel.0250-24-6465 新潟市金津186

e-mail ●botanical@greenery-niigata.or.jp

- 観賞温室
利用案内
- 入館時間/9:30～16:30(入館締切り16:00)
 - 入館料/大人600円小中学生300円(土・日・祝日は小中学生無料)
 - 休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

磐越自動車道●新津I.Cから国道460号(新津東バイパス)、国道403号経由で約20分
日本海東北自動車道●新潟亀田I.Cから約20分<駐車場無料>
JR●信越本線古津駅から徒歩約20分
バス●新潟美術館入口下車 徒歩約10分

「グリーンスケッチ」は、県民のみなさんとともに花と緑を育て、私たちが暮らすまちなかの緑を守り、さらに緑と花を増やしていくための情報誌です。

都市緑化についてのご意見、みなさんのお住まいの地域にある自慢の花や緑の空間、花や緑の活動を行っている人や団体などの情報を緑花センターまでお寄せください。



表紙写真／第1回新潟県立植物園写真コンテスト
【温室部門】県知事賞作品
「熱帯植物ドーム夜景Ⅲ」 大橋新三郎

第2回都市公園・県立植物園写真コンテスト開催!!

植物と公園により親しんでいただけるよう、写真コンテストを開催します。

【風景部門】対象公園内を撮影した写真で、題材は問わない。

【花と緑部門】対象公園内で見られる花などの植物を題材とした写真。

プロ・アマ・年齢問わず、どなたでもご応募いただけます。
受付期間は平成17年9月1日～平成17年9月16日です。
くわしくは、下記にお問い合わせください。
力作をお待ちしております!!

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などで配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡ください。

財団法人 新潟県都市緑花センター

〒950-0933 新潟市清五郎58番地
TEL 025-257-8711 FAX 025-257-8766
E-mail center@greenery-niigata.or.jp
URL <http://www.greenery-niigata.or.jp>



登録範囲は、事務局、鳥屋野湖公園事務所、紫雲寺記念公園事務所、県立植物園です。

寄付のお願い

財団の公益事業は
基金の運用果実により行われます

当センターは県・市町村及び県民のみならずからいただいた寄付金より基金を造成しており、その基金を安全・確実な方法で運用した運用益(果実)により緑花の推進事業を行っています。

寄付のお問い合わせ先

(財)新潟県都市緑花センター 総務課宛
TEL025-257-8711

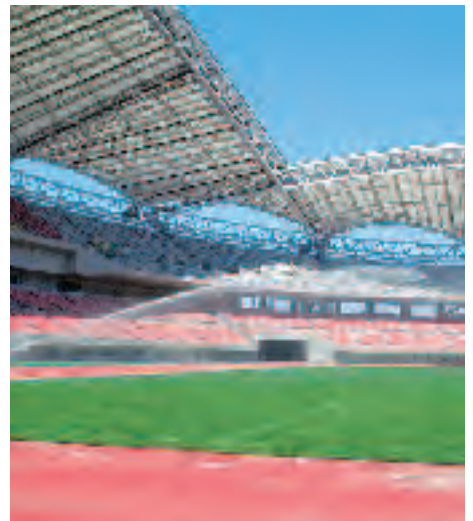
寄付者紹介

(平成17年4月～6月まで)

緑花募金

- 個人
- 春の新潟県都市緑花フェア

基金の設立・寄付金等にご協力いただいたみなさまに厚くお礼申し上げます。



編集後記

真夏の日差しをうけながら、私たちに木陰や安らぎをあたえてくれる木々や草花。植物と人間、おたがいに元気に夏を過ごすために、励ましあって暮らしていきたいですね。